

様式 1

県立潮来高等学校

【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

人間性豊かな『自立した生徒・自走できる生徒』の育成
 ～どのような時代であっても、一生涯、自立して主体的に判断・行動できる人間を育成する～

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会の人、もの、ことに関する総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関りや協働によって支えられていることに気付く。</p> <p>(2) 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関りから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。</p> <p>(3) 地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月 1 回の学年会議で学習活動の評価の観点や指導上の課題を共有する。 ・ 学習活動の過程の評価 ・ 計画書、中間・最終発表の内容、作成した資料、振り返りシート等を評価の対象とする。 ・ 最終発表の相互評価や外部評価を加味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担任による個別面談（生徒・保護者） ・ 学年会議での情報共有 ・ スクールカウンセラーの活用 ・ 教科や他学年との連携

様式1

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（課題研究（地域ビジネス科・人間科学科の3年）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>【課題】 探究の基礎・スキルの習得</p> <p>【学習活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問いをたてる（「困りごと」発見ワークやマインドマップ作成等） 2 情報収集・整理を行う。（方法や情報の信憑性見分け方等） 3 発表活動を行なう。（プレゼンテーション方法等） 	<p>潮来市地域おこし協力隊・潮来市社会福祉協議会・学校運営協議会委員等</p>	<p>ルールやマナーを遵守し、豊かな人間性と社会性を身に付けた生徒。</p>
2年	<p>【課題】 修学旅行を視野に入れた地域探究</p> <p>【学習活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 課題の発見・設定・整理・分析（修学旅行先の名所・文化・食事等についてインターネットや文献等を利用して調べ、興味・関心を高める。その中から地域の課題を発見し深掘りする。） 2 「問い」を持って現地へ赴き、仮説検証型フィールドワークを実施。 3 「地域」を良くするために、解決案の提案し、発表する。 	<p>潮来市地域おこし協力隊・潮来市社会福祉協議会・学校運営協議会委員等</p>	<p>学校や社会の規範意識をもち、社会性・協調性および個々の能力の伸長に向け根気強く取り組むことができる生徒。</p>
3年 （総合的な探究の時間）	<p>【課題】 地域課題探究</p> <p>【学習活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域社会の課題を深掘りし、その解決策を模索する。 2 書籍やインターネットを用いたりフィールドワークを行い、仮説を裏付けたり修正するための情報収集を行う。 3 発表活動を行なう。 	<p>潮来市地域おこし協力隊・潮来市社会福祉協議会・学校運営協議会委員等</p>	<p>地域社会に貢献でき、人間性豊かで自立して主体的に判断・行動できる生徒。</p>